

おもしろく生きる

松本市子ども会育成連合会 会長 永塚 博

「人間万事、塞翁が馬」「禍福はあざなえる縄のごとし」
「ものは考えよう」

テレビや新聞を見ていると、戦争やトリプルデミック、闇バイト等、悪いニュースが目立ちます。しかし、長い歴史を振り返ると今はいい世の中です。地震は昔から定期的に起きていますが、今は国や自治体が支援してくれます。遠くから赤十字やボランティアも来てくれます。洪水はダムができてなくなり、飢饉は、食べ物を海外から輸入することで起こらず、物価高で済んでいます。疫病はコレラ、ペスト、天然痘もありました。

争いごとは隣の藩との戦だけでなく、水争いや山林の木を勝手に伐った場合等は藩が裁定しないといけませんでした。税が納められずに小作になる、あるいは夜逃げするといったことがあり、今とは比べ物にならない悲惨な歴史を繰り返してきました。税も米だけでなく草場・薪・渋柿等まであったということです。役務も川や橋の整備、道の普請があり、お百姓さんは自分たちがお米を作っても食べられずに税に納め、粟や稗などの雑穀を食べたといひ

ます。5人組の連帯責任にして監視社会にしていました。今は年金や保険制度で安心して暮らせます。

世界でも争いはなかなかなくなりませんが、人口当たりの戦死者数は減っています。オーバーツーリズムも世界的に平和だからでしょう。

誰でも楽しく生きたいと思っていますが、今は少し悲観的になりすぎているように思います。核家族化やSNSで世界が狭くなっている人が多いのではないのでしょうか。好奇心を持って、周りの色々な人と話をしたり体験したりしたら楽しいことが見えてくるのではないのでしょうか。不登校でもフリースクールや特別支援学級で自分の好きなことを見つけられる道ができました。障がい者も活躍できるようになりました。

私は、おもしろい育成会活動を目指し「つながり」を増やしたいと思っています。

どなたかが講演会で言っていた言葉を思い出します。「今日行く(教育)ところがある、今日用事(教養)があることは幸せである」。

第53回 子ども会リーダー講習会

7月27日(土)～28日(日)、美ケ原少年自然の家でリーダー講習会を実施しました。

各地区の子ども会育成会から推薦された小学生38名が参加し、KYT講習、レクダンス、キャンプファイヤー、ウォークラリー等を体験しました。



第22回 チビッ子カーニバル

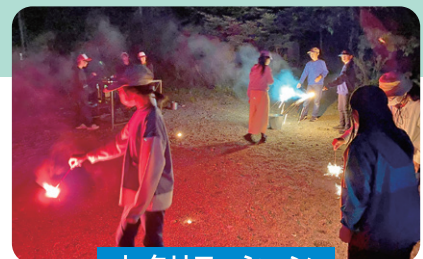
11月30日(土)、第22回チビッ子カーニバルが、なんなんひろばを会場に行われました。この催しは、子ども会ジュニア・リーダーが主として幼稚園、保育園児を対象に、手づくり工作を教えるイベントです。当日は、およそ300名の親子連れで賑わい、紙コップとポリエチレン製の使い捨て手袋を使った、とびだすおぼけづくりなど6つの工作を楽しみました。スタンプラリーやビンゴ大会でも盛り上がりしました。自分で作った作品を、大事そうに笑顔で持ち帰る子どもたちの姿が印象的でした。



令和6年度 ジュニア・リーダー 研修会の様子



野外炊飯



レクリエーション



KYTの練習



スノードーム作り

三者懇談会

～子どもが主体となる子ども会育成会活動を目指して～

- 期 日 9月3日(火)
- 会 場 松本市教育文化センター
- 参加団体 校長会 PTA連合会 子ども会育成連合会



本年度の三者懇談会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が流行する前と同じ形式で行い、「子どもが主体となる子ども会育成会活動を目指して」のテーマで話し合いました。

懇談会テーマの趣旨説明の後、松本市子ども会育成連合会の各理事から、各地区の子ども会育成会事業について、子どもが主体となって行っている活動を中心にした活動報告がありました。その後、校長会より、学校現場において、子どもの主体性を発揮するために工夫していること、取り組んでいることを、各校長先生より報告していただきました。「総合の時間で各地域と関わるようにしている」「子どもに委ねる授業づくりをしている」「主体的に考える児童会活動を目指している」「地域の行事に積極的に参加している」「探求学習で、地域貢献課題を見つける」などの報告がありました。次にPTA連合会より、家庭やPTA事業で、子どもたちが主体性を発揮するために工夫していること、取り組んでいることについ

て報告がありました。「親が先頭に立ってがんばって活動する姿を見せる」「好きでやっている。親が楽しむ」「地区割り当て役員でなく、ボランティアを募っている」などの声が、各役員から出されました。

報告の後の自由懇談では、「地域との関わりと教員の負担のバランスが課題」「地域を好きになってもらう」「PTAが任意加入となり、地区役員がいない地区がある」「個人情報保護と、新1年生の名簿への配慮」「PTAの加入率は低くなくても、やりたくてやっている。PTAはいい方向に行っている」など、活発な意見交換がなされました。

最後に丸山総務部長の総括とお礼の言葉で終了となりました。子どもの数の減少やPTAの解散や任意加入の広がりという情勢の中、地域社会を担ってエンジン役となっていく子どもたちを、みんなでどう育てていくかについて考え合う良い機会となりました。

安全講習会

～子ども会KYTを学ぶ～

- 期日 10月5日(土)午前
- 会場 なんなんひろば



松本地方子ども会育成連絡会主催、安全環境部会共催で安全講習会が開催されました。

松本市、塩尻市、安曇野市、山形村の子ども会育成会役員等18名が参加し、講師に松本市シニア・リーダー会の伊藤拓実さん、孔希さんご兄弟をお招きして、KYT(危険予知トレーニング)の体験学習をしました。

5つの班に分かれて「楽しそうに下校している状況」の絵が描かれたトレーニングシートを基に、そこにどん

な危険が隠れているかを見つけ出し、その中で大けがにつながる危険はどれかを決め、どうすれば危険を防げるかを話し合い、事故防止のための行動目標を決めて発表しました。

子ども会行事等の活動前に実施することにより、危険回避のための理解度を上げる手段になることを学びました。

育成者講習会 インクルーシブ野外教育を考える

～学校の子どもたちと野外教育の変化～

- 期日 10月5日(土)午前
- 会場 なんなんひろば



松本地方子ども会育成連絡会主催、安全環境部会共催で育成者講習会が開催されました。

講師に信州大学学術研究院総合人間科学系講師の加藤彩乃さんをお招きし、お話をお聞きました。

身体活動を通してコミュニケーションを図る時、「今どき」と言われるZ世代、α世代の子ども達は自然体験が少なくなっている。

インクルーシブ導入学習で発達障がいのある子どもも参加する野外学習の場合は、不安の解消や行動特性を理解し、スキルトレーニングをするために、専門家が連携してプログラム化した事前支援学習が必要となる。事前学習の実施で多くの成功体験を積むことにより、障がいの経験の幅を広げることができ、さらに興味のある学習体験へとつながっていくと述べられました。

今年度の主な活動

1 全体活動

- (1) 総会 5月18日(土)
- (2) 理事会 3回
- (3) チビッ子カーニバル関連
 - ・事前研修会 11月9日(土)
 - ・チビッ子カーニバル 11月30日(土)
- (4) ジュニア・リーダー研修会 6回
- (5) シニア・リーダー研修会 2月23日(日)
- (6) 関東甲信越静地区子ども会ジュニア・リーダー研修会
8月17日(土)～19日(月)
- (7) 青少年に有害な地域環境実態調査 11月
- (8) 協賛事業運営参加
 - ・松本子どもまつり 5月3日(金)
 - ・青少年健全育成市民大会・「松本子どもの権利の日」
市民フォーラム 11月17日(日)
 - ・長野県青少年健全育成県民大会
 - ・青少年の非行・被害防止全国強調月間街頭啓発
 - ・子ども・若者育成支援強調月間街頭啓発
- (9) 各種大会・研修会
 - ・長野県子ども会育成連合会総会
 - ・松本市平和記念式典
 - ・関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会
 - ・松本地方子ども会育成連絡会

2 専門部活動

- (1) 総務部
 - ・三者懇談会 9月3日(火)
テーマ：子どもが主体となる子ども会育成会活動を目指して
出席団体：校長会、PTA連合会、子ども会育成連合会
・子ども会育成連合会だよりの発行
- (2) 育成部
 - ・リーダー講習会事前研修会 7月6日(土)
 - ・リーダー講習会 7月27日(土)～28日(日)
 - ・リーダー講習会活動発表会 9月7日(土)
- (3) 安全環境部
 - ・安全講習会 10月5日(土)
講師：子ども会シニア・リーダー会
伊藤 拓実 氏、伊藤 孔希 氏
テーマ：子ども会KYTを学ぶ
 - ・育成者講習会 10月5日(土)
講師：信州大学 学術研究院総合人間科学系
加藤 彩乃 氏
テーマ：インクルーシブ野外教育を考える
～学校の子どもたちと野外教育の変化～



受賞おめでとうございます

今年度、長年にわたり子どもたちの健全育成にご尽力された次の方が、表彰を受けられました。

- ◇長野県知事表彰(子ども・若者育成支援功労者)
永塚 博(波田)
西口恵利子(庄内)
- ◇長野県将来世代応援県民会議会長表彰
小澤 優一(中山)
- ◇松本市青少年健全育成市民大会表彰
臼井和夫(第三)
三浦好弘(岡田)
- ◇松本市子ども会育成連合会会長表彰
百瀬清子(入山辺)
河西真次(安原)
窪田克子(笹賀)
山下治夫(寿)
百瀬岳男(安曇)
- ◇松本市社会福祉大会表彰
臼井和夫(第三)

令和6年度役員

- 会長 永塚 博(波田)
- 副会長 西口恵利子(庄内)
百瀬清子(入山辺)
- 会計 矢崎 基(里山辺)
- 監事 由井三佐子(城北)
大野善章(安曇)

総務部 部長 丸山宇一(内田)
副部長 三浦好弘(岡田)

育成部 部長 山下治夫(寿)
副部長 大和田康子(芳川)

安全環境部 部長 波多腰 力(新村)
副部長 久保田 毅(庄内)